



学校教育目標

「国際社会を 心豊かに たくましく とともに伸びる 子どもの育成」



めざす子どもの姿

豊かな人間性

思いやりのある子ども
よく考える子ども

健康・体力

健康な心と体を鍛える子ども

子どもにつけたい力(資質・能力の育成)

○何を身につけ、何ができるようになるか

- ・主体的に考え、学んだ知識や技能を使い、状況に応じて課題を解決しようとする。【意欲】
- ・様々な考えから自分の考えを深めようとする。【意欲】
- ・自分の思いや考えをわかりやすく説明しようとする。【技能】
- ・目的に応じて、互いの考えや思いを伝えようとする。【技能】
- ・自分や相手のことを大切に、相手のいいところをわかろうとする。【内面の伸長】

○何を学ぶか

- ・互いの違いや立場に気付き、尊重できる態度。
- ・自分の考えを持ち、様々に表現できる力。

○どのように学ぶか

- ・ペアワークを通じて、自分の考えを伝え、相手の考えをしっかりと聞いて考えを深める。
- ・グループ活動を通して、より多様な見方や考え方に触れ、思考を拓げる。

研究テーマ▶「安心・わくわく」

学校の研究推進

各研究部会による重点的な取組み

教科教育研究

◎各教科にわかれ、研究テーマを追究する。

★研究の視点

- ①児童が「安心」して授業に臨む姿とはどのような姿か。
- ②児童がわくわくするような授業とは？
- ③主体的、対話的で深い学びとは？
- ④タブレットなどICT機器を使って深めることはできないか

★研究方法

各教員が、上記①②をどのように考えるか、授業公開を通して明らかにしていく。

人権教育研究

◎自分も友だちも大切に安心できる集団づくり

★研究の視点

- ①自尊感情を高めるためにどうするか？
- ②自他ともを大切にするためにどうするか？
- ③共に学んでいこうとする子どもの姿とは？
- ④国際理解を深め、外国の文化や違いを認めあう多様な価値感、考え方をどう育むか。

★研究方法

具体的な取り組みと児童の変容をもとに検証する。

学校

コミュニティスクール
構想

◎学校、家庭、地域、他校種等の連携と協働

- ★学校、家庭、地域等による指導体制の構築と充実
- ★登下校時の見守体制強化に向けた学校と地域の連携
- ★非常変災時等への危機管理対策と迅速な対応と連携
- ★幼保小連携・小小連携・小中連携の取組み推進

◎子ども理解を基盤とした授業づくりや児童対応の実施

- ★学習効果を最大化するためのカリキュラム・マネジメントの作成と管理
- ★ICT機器等を活用した学習活動の充実
- ★いじめ、虐待防止・不登校対策の推進と連携強化

地域

家庭